

えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

学校評価①の結果をお知らせします

一学期末に実施した学校評価の結果をお知らせします。今回は、325人の保護者の皆様からご協力をいただきました。集計にスキャナーを使う関係上、マーキングが薄かったり、一つの項目にマークが二つあったりした場合は無回答扱いになってしまうなど、若干処理しきれないデータも出てきましたが、可能な限り手作業で修正した結果を掲載しました。

1 まなびフェストを知っていますか

知っている 264人 (82%)
知らない 59人 (18%)
無回答 2人



2 まなびフェストについて、共感できますか

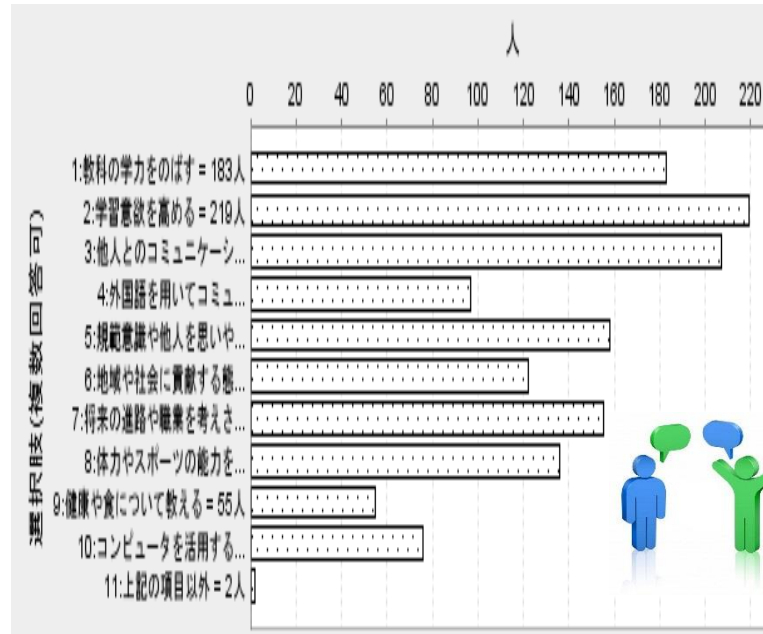
共感できている 88人 (34%)
どちらかといえば共感できている 164人 (64%)
どちらかといえば共感できない 4人 (2%)
共感できない 1人

まなびフェストとは、下記のようなねらいをもった取り組みです。

※学校や生徒の実態に応じて重点化した項目について、より具体的で、明確な達成目標を設定し、教職員、生徒、保護者が一体となって取り組むことにより生徒に身に付けさせたい基礎・基本(学力、体力、生活習慣等)の定着を図る

PTA総会でその取り組みの趣旨を説明していますが、知らない方が2割弱いると言うことはまだまだ啓蒙不足ということになり、反省することしきりです。まなびフェストは総会資料にも添付しており、また学校のホームページにも掲載しておりますので、是非一度目を通していただくとありがたいです。

3 学校に期待する教育や指導は何ですか



1の学力、2の学習意欲への期待が高いのは予想通りでしたが、他の項目も決して低くはなく、学校教育に寄せる期待の高さを物語る結果となりました。一方、3、5、6、7、9は家庭や地域との協働が必要不可欠です。引続きよりよい連携の形を模索しながら、生徒の指導に努めて参ります。

4 3で選んだ項目について、学校は全体として期待に答えてくれていると思いますか

そう思う 33人 (10%)
どちらかといえばそう思う 234人 (71%)
どちらかといえばそう思わない 40人 (12%)
そう思わない 5人 (1%)
無回答 13名

8割ほどの方から肯定的な評価をいただくことが出来ましたが、どちらかと言えば・・・が7割であり、まだまだ期待に応える余地があるということになりそうです。自由記述欄には厳しいご意見もいただいておりますので、これらの声に真摯に耳を傾け、さらなる信頼確保に努めて参りたいと思います。

5 学校や学級の教育活動に関する情報提供(学校・学年・学級便り、HP等)は役立っている

当てはまる 182人 (55%)
どちらかといえば当てはまる 122人 (37%)
どちらかといえば当てはまらない 16人 (4%)
当てはまらない 0人
無回答 5人 (1%)



6 学校は、テスト結果や学力調査の結果を知らせ、学力について伝えている

当てはまる 190人 (58%)
どちらかといえば当てはまる 115人 (35%)
どちらかといえば当てはまらない 16人 (4%)
当てはまらない 0人
無回答 5人 (1%)

校報は胆沢全世帯に回覧させていただいており、思わぬ方から「読んでいますよ」と声をかけられることもあります。「下校時刻やスクールバスの時間を教えてほしい」といったご意見もいただいておりますが、基本的に伝えるべき情報は全て発信しています。月行事についても、学校HP(スマホからの閲覧可)に掲載しておりますので是非ご覧ください。

7 学校は、家庭学習を計画的に出している

当てはまる 107人 (32%)
どちらかといえば当てはまる 171人 (52%)
どちらかといえば当てはまらない 35人 (10%)
当てはまらない 5人 (1%)
無回答 7人 (2%)

8 学校は、気になることは即連絡するなど家庭との迅速な連携に努めている

当てはまる 102人 (31%)
どちらかといえば当てはまる 179人 (54%)
どちらかといえば当てはまらない 35人 (10%)
当てはまらない 6人 (2%)
無回答 3人 (1%)



些細なことでも気になることは速やかに家庭に連絡を入れるのが、学校の基本的スタンスです。もちろんマイナス面だけでなく、良いことでも積極的に連絡を取り合って連携を深めていきたいと思っております。

9 学校は、しっかりといじめに対応している

当てはまる 83人 (25%)
どちらかといえば当てはまる 180人 (55%)
どちらかといえば当てはまらない 42人 (12%)
当てはまらない 11人 (4%)
無回答 9人 (3%)

平成25年6月に施行されたいじめ防止対策推進法では、いじめを次のように定義しています。

「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう」(第2条1項)

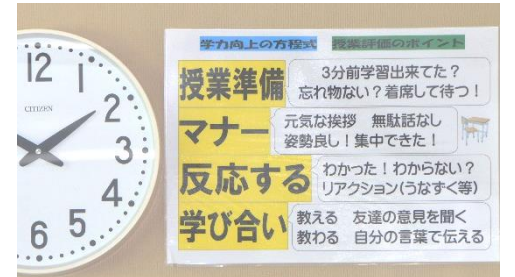
よって、「いじめにより心身の苦痛を感じた」と訴えがあれば、どんな状況であろうと学校は調査し、必要に応じて適切な指導を行わなければなりません。

7月末現在で、胆沢中学校がいじめと認定した事案は7件(前年度は14件)でした。その後3ヶ月間の経過観察を経て、事態が収束されていけばいじめは解決されたと判断されます。

一学期は保護者からの情報提供により、いじめを把握できたこともありました。子どもが気兼ねなく相談できる体制づくりに引続き取り組むと共に、「いじめがない学校、生徒が安心して生活できる学校」をめざして指導に努めていきたいと思っております。

学力向上の鍵はこれだ!

授業評価の4観点の表示を、右のようにリニューアルしました。授業準備とマナー



一は、胆沢中生として授業を受ける際の最低限の心構えであり、反応すると学び合いは、よりよい学びを通して確かな学力を身につけるために必要不可欠な活動です。教師側としても、よりよい反応を引き出し、より活発で意義のある学び合いができるよう指導の改善に努めていかなければなりません。生徒に対する授業評価は、即ち教師の評価でもあります。